

新しい命に 笑 吹き込む 町から“笑い文字”の贈り物

町は9月から、出生届を提出されたご家族へ、生まれた赤ちゃんの名前を「笑い文字」の作品としてプレゼントする取り組みを始めました。町内在住の金崎結子さんが制作するもので、出生届の受理後に金崎さんが、名前に込められた家族の願いに思いをめぐらせながら、心を込めて仕上げます。

町内在住の金崎さんは、一般社団法人笑い文字普及協会に平成29年から所属し、笑い文字を通した社会貢献活動を続けています。

笑い文字は、人の名前などの文字を書く際に朱色も使いながら満面の笑顔を溶け込ませるもの。「人を癒し、自然と笑顔にする」。金崎さんは、笑い文字に込められた力を信じて、県内外の各種イベントで制作を行うほか、書き手の育成活動にも励みます。

『『書いて半分、渡して完成』が笑い文字の合言葉。毎週、お誕生の情報を（町から）もらうと本当にうれしくなる。笑い文字を受け取った赤ちゃんには、この町ですくすくと元気に育ってほしい、そんな思いでいっぱいです』と話しました。



金野天くん



千葉梨楓ちゃん



金崎結子さん



▼イベント会場など、その場で作品を仕上げる金崎さん。常にはがきサイズの紙を持ち歩き、すぐに書いて渡せる準備をしています。



▼基本は相手と話しながら制作。名前に笑顔が入るころには、渡す相手にも笑顔が浮かびます。



町音楽祭で町内団体が共演 全国コンクール入賞の学校出演

町音楽祭は11月8日、9日、田園ホールで行われました。小中学校の合唱、吹奏楽の団体や町内を拠点に活動する音楽教室など16団体が出演。2日間で延べ522人が来場し、各団体の魅力的な演奏に聴き入りました。

10月下旬に行われた全日本小学生バンドフェスティバルで



金賞の煙山小吹奏楽部、全日本合唱コンクール全国大会で金賞の矢巾北中特設合唱部も出演し、トップクラスの演奏で観客を沸かせました。また、小中学生有志合唱団「ピッコロパストラレ」と町民合唱団による合同演奏も行われ、魅力的なハーモニーが会場に響きました。

令和7年度資源回収コンクール入賞自治会

順位	自治会名	人口	資源回収量 (kg)	
			総重量	1人当たり
1	流通センター	593	18,189	30.67
2	煙山	330	9,747	29.54
3	広宮沢一区	555	14,240	25.66
4	白沢	574	14,351	25.00
5	和味	298	7,398	24.82
6	土橋	431	9,968	23.13
7	室岡	473	10,881	23.00
8	新田二区	523	11,965	22.88

特別賞 (対前年度伸長率) 城内 (前年比50.94%増)

※前年度資源回収コンクール時の回収量に対し、最も増加率 (伸長率) が高かった自治会です。

特別賞 (実績回数) 西徳田二区 (15回)

※資源回収を最も多く実施した自治会 (上記表の入賞自治会を除く)



資源回収コンクール
1 位は流通センター

自治会対抗資源回収コンクール (町ごみ減量推進員協議会主催) の表彰式が11月13日、町公民館で行われました。19回目となったコンクールの総回収量 (令和6年度) は約341ト (令和5年度約369ト)。今後も引き続き分別・リサイクルに意識をもち、資源の有効活用にご協力ください。結果は右表のとおり。
町は資源回収実施団体へ補助金を交付しています。詳細は町民環境課 (019-611-2501) へお問い合わせください。



県トラック協会路線支部から
幼児用横断教育セット寄贈

県トラック協会路線支部は11月10日、交通安全教室に利用できる信号機などの教育セットを町へ寄贈しました。町役場で贈呈式を行い、平野浩支部長から目録、高橋町長から感謝状をそれぞれ贈りました。教育セットは町内各施設での交通安全指導に活用されます。



健康福祉表彰式
健康で元気な 36 人をたたえる

町健康福祉表彰式を10月30日、さわやかハウスで行いました。90歳を迎えた「元気で長生き表彰」で21人 (写真)、80歳を迎えて20本以上の歯がある「8020健康な歯表彰」で15人をそれぞれ表彰。高橋町長が各部門の代表者へ賞状と記念品を贈り、健康に歳を重ねている方々を称えました。



大和財託株式会社から
企業版ふるさと納税

本町出身の藤原正明さんが代表取締役CEOを務める大和財託株式会社から、企業版ふるさと納税での1,000万円の寄付がありました。「誰一人取り残さない社会を目指すまちづくり事業」へ活用されます。11月21日、町役場で高橋町長から藤原さんへ感謝状を贈呈しました。



地場産品を利用した「やはばっこ給食」
初めて矢巾の郷土食を提供

町の学校給食では毎月 19 日ごろに「やはばっこ給食」として地場産品を使った給食を提供しています。11 月 18 日には町の郷土食料理を初めて、町内各小中学校へ提供しました。不動小では高橋町長、岡田秀二教育長と同校 6 年生が、地元の食材がふんだんに使われた給食を一緒に楽しみました。



町サステナブルアワード 2024

～受賞企業と取り組みを紹介～ 5

前年度に開催した「矢巾町サステナブルアワード 2024」の受賞企業をシリーズで紹介します。



信幸プロテック株式会社

【企業概要】 広宮沢に本社を置く、空調・設備関連の施工、保守、修理を主な業務とする企業です。



●社員の健康を守る取り組み

企業を支える社員の健康のため、専門家を招いたストレッチなどの講座をはじめ、スポーツレクや食習慣の見直しのきっかけとなる取り組みを実施。健康で長く働ける環境を作っています。



●エコアクション 21 への参加

環境省が定めた環境経営システムに関する認証・登録制度。自社顧客への高効率省エネ機器の提案、社員の環境意識や生産性の向上など、環境保全と企業価値を両立させる取り組みを継続中です。



田園ホールでクリスマスツリー 町内園児が飾りつけ

田園ホールで、クリスマスツリーの展示が始まりました。各園、園児が思いを込めて飾り付けたツリーが田園ホールロビーを彩ります。ツリーは全5本あり、12月25日まで展示する予定です。(写真はこずかたこども園)



町長杯ハンドボール大会 秋田・羽後中を迎え3校で実施

第5回町長杯ハンドボール大会を11月9日、町民総合体育館で行いました。矢巾中・矢巾北中、羽後中（秋田県）の計3校、男女それぞれで実施。東北の強豪校同士がしのぎを削り、今後の成長への糧としました。結果は以下のとおり。

▼男子 1位羽後、2位矢巾、3位矢巾北

▼女子 1位矢巾北、2位羽後、3位矢巾

友だち紹介

矢巾中央幼稚園・保育園【3歳児】



しもほり すずちゃん きくち みなとくん なりた あおいちゃん なかの たいがくん きくち つむぎちゃん さとう ようたくん やまぐち るいちゃん いとう けいすけくん



町消防団創立 70 周年 記念式典を開催

町消防団創立70周年記念式典が11月16日、田園ホールで行われました。現役団員や功労者など約250人が参加。功労者への感謝状の贈呈、元豊橋市消防団長の松下直弘さんによる記念講演、ラッパ隊や町消防団選抜小隊による各種披露が行われました。式典では谷村謙一団長が「今後も継続した取り組みを行っていくとともに、町民すべての方々が防火防災の意識を高く持てるよう、普及啓蒙の活動に努める」とあいさつしました。



町消防団が町社会福祉協議会へ 団員生産の米を寄贈

町消防団による町社会福祉協議会への米の寄贈が11月6日、町役場で行われました。農業を営む同団員の有志 10 人によるもので、総量 690^{キログラム}。谷村団長から藤原義一会長へ贈りました。

寄付された米は町社会福祉協議会や町内団体が行う「子ども食堂」の他、さまざまな困りごとにより食料を必要とする子育て世帯へ無償で提供する「フードパントリー」、歳末助け合い募金に伴う活動の3事業の中で主に活用されます。



幅広い分野が話題に 岩手医大生と高橋町長が対談

高橋町長と岩手医科大学薬学部の学生によるタウンミーティングが11月13日、岩手医科大学矢巾キャンパスで行われました。同学部の生徒、教員、高橋町長の計13人が参加。薬学や町政など幅広い分野について意見交換が行われました。

薬王堂を含めた3者が連携して実現した初めての試み。意見交換では人口減少社会における薬剤師の在り方、医療・企業・行政の連携強化などの話題が上がりました。

友だち紹介

北高田こども園 【3 歳児】



たむら たくとくん



おのでら いちかちゃん



くまが いれつくん



たかやま やまとくん



むらた たいがくん



ふくい あこちゃん



ふじわら しょうたくん